



発行日 2010年5月20日 発行人 細川正善

編集責任者 太田賢孝

発行所 SOTO禅インターナショナル事務局 〒233-0012 神奈川県横浜市港南区上永谷5-1-3 貞昌院内

Tel. 045-843-8852 Fax. 045-843-8864 URL: <http://www.soto-zen.net/>

郵便振替 00100-6-611195 SOTO禅インターナショナル

Vol.43

2010年度総会・講演会特集号



2010年度総会・講演会 集合写真

巻 頭

曹洞宗国際センター所長就任にあたって

曹洞宗国際センター所長 藤田 一 照



このたび、1997年の開所以来ずっと所長をつとめてこられた奥村正博師のあとをついで、曹洞宗国際センターの所長に就任いたしました。去る3月27日に渡米し、

サンフランシスコのオフィスにおいて奥村師より事務の引き継ぎをおこない、所長としての仕事を始めました。現在、サンフランシスコ禅センター発心寺（シティ・センター）の一室を借りて住まいとし、オフィスまで自転車ですべて通っています。

わたしはアメリカ東部の禅堂で約18年暮らした後、家族とともに日本に帰ってきてこの春で丸5年になりました。まさかこのようなかたちでふたたび国際布教に関わることになるとは思ってもみませんでした。今回は、ヴィザの問題もあって当分のあいだは単身で日本と海外とを行ったり来たりすることになります。

今後、国際センターの果たすべき役割は多岐にわたると

と思いますが、各総監部の協力を得て、そして現地の人たちとの親密な交流を通して、いま海外において曹洞禅はどのような状況に置かれているのか、今後いかなる方向にむかって展開しようとしているのか、そこで宗門として何を要求されているのかといったことを広く具体的に把握し、それを日本の宗侶や檀信徒のみなさんに積極的に伝えていくこと。それが今後、国際センターの仕事として大事なことになるのではないかと思います。

また、海外において、坐禅を中核とする曹洞宗の修行がきちんとした宗学の基礎の上にたって行われるように、教学的理解と修行的実践との統合の筋道を曹洞宗として明確に提示していくこともこれからの重要課題でしょう。つまりセンターが日本の曹洞宗と海外の曹洞宗との間にあって双方向に向かって手を伸ばし、両者をうまくつなげていくような働きかけをしていけたらと思っています。

浅学非才の身、SZIの皆さんからのインプットと応援を今後ともよろしくお願いいたします。 合掌

総会講演会「法網今や西ひがし」

ニューヨーク大菩薩禅堂師家 しまの えい どう
嶋 野 栄 道

皆さんこんにちは。どういう風の吹き回しか、SOTO 禅 インターナショナルの総会で話をすることになりました。演題を考えたとき、最初に頭をよぎったのは、「釈迦に説法」というものでした。しかし周りの人に、不真面目すぎると言われまして、「法網今や西ひがし」という演題にさせていただきました。この少し格好の良い演題ですが、実は私の師匠である中川宗測老師の俳句に「山涼し 法網今や西ひがし」というものがあり、そこから拝借したわけです。“山涼し”というのは、山で修行しているひとりひとりの心がクールということであり、この俳句は、そのクールネスが東西南北に今広まり深まっているという意味だと思います。今日はなるべくざつぱらんにお話しして、人と人の繋がりを深めたいと思っています。

ご存じのように鎌倉時代以降に、二十四流という禅が中国から日本に伝わってまいりました。この中で、例えば建長寺の開山様の蘭溪道隆ですとか、円覚寺の開山様の無学祖元は、中国のお坊さんが直接来られた場合です。ところが、日本人が玄界灘を越えて中国に渡り、語学が不便だったにもかかわらず、それを克服されて、禅宗のエッセンスを持ち帰られた場合もあります。その良い例が、道元禅師でございます。二十四流と申しましたが、大体半分以上は、中国の方です。

初めのうちは堅苦しい話になりますが申し訳ありません。ここ20年くらい良く日本でも、心の時代と言われていました。NHKでも心の時代という番組があり、色々な方が心の時代と叫んでいます。しかし実感として、心の時代が来たとは思えないのです。今アメリカ辺りで言われていることは、21世紀は東洋の時代だということです。これは説得力が

あると思います。全地球の人口は63～64億といったところですが、その過半数は東洋系の方だそうです。つまりマジョリティーが東洋人、マイノリティーが白人です。今年オリンピックがバンクーバーで開催されていますが、バンクーバーへ行くと中国へ来たのではないかと思うくらい中国人が多いです。つまり、カナダでありながら、過半数は東洋の方です。心の時代というのは、非常にアンビギュアス（あいまい）な表現です。一方、東洋の時代というのは、非常にコンクリート（具体的）な表現です。その東洋のエッセンスというものが仏教ではないかと思っております。

主にアメリカの話になりますが、私が色々なご縁でアメリカに渡ったのが、ちょうど今から50年前の1960年でした。つまり半世紀前です。だから私はよく言うのです。半世紀というのは、反省する時期が来たのだと。実際、反省することが多々あります。当時不思議なことが色々ありました。13世紀の鎌倉時代を例に取りますと、禅宗では栄西禅師とか道元禅師、浄土宗では法然上人、そのお弟子さんの親鸞聖人、そして日蓮聖人、一遍上人、こういう方が一度に出てきました。不思議と言わざるを得ません。ということは、如何に時代が閉塞していたかということです。

西洋の歴史では、ローマ帝国が崩壊したのが5世紀です。それからルネッサンスが始まるのが14世紀です。この900年から1000年の間、中世と呼ばれる時代です。昔は中世を、ダークエイジつまり暗黒の時代といっていました。考えてみて下さい。900年間デプレッション（陰鬱）が続いたということは、すごいことです。社会的・経済的・精神的デプレッションが1000年近く続いたわけです。ひとくちに1000年といっても、源氏物語が書かれてから1000年です。そんなに長い間ダークエイジが続いたのです。ですから、その最後の頃になって、ホープレスになった人達が言った言葉が、メント・モリというものです。“死を想え”という意味です。今の日本というのは、それほどひどくないにしても、ちょっと似ているのではないかなと思うときが時々あります。そしてその極限に達したとき、もう耐えられないといって起きたのがルネッサンスです。ルネッサンスが15～16世紀にイタリアを中心として起き、その後、産業革命がイギリスで起こり、今の資本主義が出来ました。

このことは皆さんご存じかもしれませんが。私が言いたかったのは、なぜルネッサンスがその時期に起きたのか、なぜ日本で13世紀にあれほど素晴らしいレリジャスジーニアス（宗教的天才）達が一度に生まれてきたのか、ということです。



講師 嶋野栄道老師



そして1960年代というのもある意味非常に不思議な時代でした。サンフランシスコの鈴木俊隆老師のように非常に優れたお方もいらっしゃいました。けれども1950年の終わりから60年代半ばくらいの間に、曹洞宗では、鈴木俊隆老師をはじめ、前角大山老師、片桐大忍老師、乙川弘文老師が禅センターを開かれました。臨済の方では、佐々木承周という方がおられますが、今103才です。いまでもかくしゃくとしてマウント・ボールディというロサンゼルスから少し山の中に入ったところにある禅堂で修行者の指導をしておられます。わたしもその時期にアメリカに渡りました。ところが不思議なことに、曹洞宗の老師は全員遷化なされましたが、臨済の方はまだ二人とも生きております。「ホワツ・ロング（何の間違いだ）！」とときどき言われます。

曹洞宗というのは非常にウェルオーガナイズドされたところと聞いております。ところが臨済というところは、一匹狼です。大本山妙心寺があろうとなかろうと。実際本山は、おまえたち行ってこいとも言わないです。ですから、立場が大分違います。

日本で知られていることと、アメリカにいて見た事実には差があるように思います。とにかく澤木興道という老師、この方の影響というものです。曹洞宗の中で澤木老師がどのような立場にあるかは知りませんが、とにかく良く坐られた方と聞いております。そしてその弟子である内山老師。

もう一人忘れてはならない方は、初めはビジネスマンでしたが澤木老師のお弟子さんになられた弟子丸泰仙というお方です。この方は、シベリア鉄道に乗ってパリに行きました。フランス語なんか全然出来ません。ご本人から直接伺ったことです。どういうきっかけか、フランス人に対して禅とはどういうものであるかという話をするようになったそうです。台の上に坐って、伽藍神のような顔でギョロツと大衆を見つめました。それだけで、もう決まってしまいました。

今ヨーロッパへ行くと、相当多くの曹洞禅センターがあります。そして、「私は弟子丸泰仙老師の孫弟子です。」とか「曾孫弟子です。」とかいう人がいっぱいいます。弟子丸老師に直接お会いしたことがある人の数は少なくなってきました。

彼がまだパリにいた頃の一つのエピソードです。私がパ

リに行った際に、表敬訪問しました。禅堂があつて、皆きちっと坐っておりました。私も一緒に坐らせていただきましたが、しばらくすると弟子丸老師が立ち上がり警策を持って、日本語で策励の言葉を大きな声で言いました。「しっかり坐れ！」というようなことを。そうすると老師の後ろにいる通訳がフランス語に訳します。日本語には力がありませんでしたが、フランス語になるとふわふわした感じになってしまいます。でも意味は同じです。

毀誉褒貶の多いお方かもしれませんが、今ヨーロッパ大陸で禅センターをリードしている方達は、弟子丸泰仙さんの息のかかった人、あるいはその人の弟子、その人の弟子の弟子ということになっております。

また、もう一人どうしても申し上げなければならないお方がいらっしゃいます。それは、原田祖岳というお方です。小浜の発心寺の住職をされ、90才を超えるまでいらっしゃいました。老師はもともと臨済の修行をされた方で、私の師匠である中川宗溥老師が非常に尊敬していました。師匠は私に、一度発心寺に行ってこいと言われました。臨済の僧堂の雲水が、ハイ行きますと言うためには、知客寮の許可が必要でした。

発心寺に行くと、90人くらいの人が臘八摂心に来ておりました。老師は90才です。提唱も独参もあり、独参の時は皆走って行きました。本堂の中が分けてあり、見性希望者はここ、只管打坐希望者はここに坐れとなっています。午後の2時くらいになり殿鐘が鳴ると、見性希望者はムー、ムーとやりだしました。警策の音がパーン・パーンと響きます。すごいことでした。今でも跡を継がれた原田湛玄老師が仏国寺におられますが、多分そういうシステムをやっておられると思います。

只管打坐正法眼蔵という一面と、臨済の公案見性という一面を持ったものを原田祖岳老師が始められました。そのお弟子さんがたくさんいらっしゃいますが、その一人が原田湛玄老師です。この御老師はポーランドにご縁があり、ポーランドのお坊さんや居士大姉がよく行かれます。

もう一人、原田祖岳老師のお弟子さんで欠かすことの出来ない方が、安谷白雲老師です。この方が、いろいろな意味でアメリカに、臨済禅と曹洞禅をミックスしたようなスタイルを持ってこられました。この法を嗣いだのが前角大山老師です。ですから前角老師のところでは、曹洞宗に属し規矩もなにもかも曹洞宗ですが、公案禅というものもやっておられます。そして、前角老師の法を嗣がれたお弟子さんが数多くいます。そのお弟子さんのお弟子さんも数多いです。曾孫弟子までできているようです。彼も早く亡くなりましたが、弟子丸泰仙さんと同じように、多くの種をまきました。

ただ、問題となることはアメリカナイズेशनです。アメリカ人はインペイシャントです。なんでも速く、とにかく速く。永く続けることが苦手で、クイック・クイックです。公案一つにしても、不十分であつてもまあまあよかろうと認め

ると、その人が弟子をやるときにはもっとクイックになっていくのです。その弟子が跡を嗣げば、もっとクイックになる。そして、すべてがアメリカナイズされてインフォーマルな形になっていく。アメリカに仏教が渡るということは、当然アメリカナイズはイネビタブル（不可避）なことです。けれども、どのくらいトラディションをキープしながら、どのくらいエッセンスを伝えるかということは、我々全員にとっての現成公案です。

トインビーというイギリスの歴史家が、「将来世界の歴史家が集まって20世紀最大の出来事は何であったかディスカスした場合、いま我々が思っている20世紀最大の出来事はそれほど出来事ではない。20世紀最大の出来事は仏教東漸だ。」と言うのです。これに私は非常にインスパイア（啓発）されました。若かった頃です。「そうかもしれない。日本にはお坊さんがいっぱいいるのだから、ひとつ賭けてみよう。」と思い、ハワイから日本に帰ってきました。

宗測老師に伺ったところ、「日本にはお坊さんがたくさんいるから、あなたひとりがいなくなっても不便ではない。アメリカに行くと、向こうの人は干天に慈雨を待つがごとく、日本のお坊さんが一緒に坐禅をしてくれることを待っている。」と言われました。本当ですかと聞くと、本当だと答えられました。「私はロサンゼルスに何度も行って、千崎如幻というお坊さんに会った。なるほど法・坐禅を求める熱意は、我々が日本で考えているよりよほど強い。だから、日本に帰ってきて寺の住職をするより、トインビーも言っているのだから、あなたも行ったらどうか。」と勧められました。

それではということで、最初はロサンゼルスと思いました。しかし、全然知らない所へ行こうと考え、突然ニューヨークを思いつきました。ニューヨークでニューライフなら、ニューイヤーズと思い、1964年の大晦日にケネディ空港にひとり立ちました。まさに見果てぬ夢です。これからどうなるかわからないけれども、本当に何も知らない・誰も知らない所へ、お金もほとんど持たずに行きました。そういうときには、不安というものは感じないものです。普通なら感じるはずですが、なにか仏さまの力がそと後ろから押して下さるようになっていました。

しかし、現実そんなに甘いものではありませんでした。実際、そのころニューヨークにはトランス禅インスティテュートという禅堂がひとつありましたが、それ以外に禅のグループはひとつもありませんでした。禅宗のお寺もありませんでした。ところが、西本願寺の仏教会はありました。そこへ行ったら、「ニューヨークに来てお寺を建てようなどということは、止めておきなさい。」と言われました。「ハドソン川の水が澄んでも、ニューヨークに禅寺が建つなどということはあり得ないことだから。早く帰った方が良いですよ。」と関先生という方が親切におっしゃって下さいました。その一言を聞いて、「本当にそうかしら。やってみなけりゃわからへん。」と思いました。私は東京生まれですから、関西弁はよくわかりません。けれども、私の関西の友達がよ

く言っていました。「やってみなけりゃわからへん。やったことしか残らへん。」良い言葉だと思い覚えていました。

関先生には、「茶碗がなければ困るだろう。」と言われ、また「香炉はあるかね。」と聞かれ、ありませんと答えると、香炉と茶碗を10ばかり貰いました。本当に良い先生でした。けれども、そのアドバイスには、やってみなけりゃわからへんと思い、とにかく何が出来るか考えました。本山からの援助は一銭もない、檀家なども一軒もない。何もない中で、何が出来るか考えました。

一つ考えたのは「坐禅ができるじゃないか。」ということ。もう一つ考えたのは「マンハッタンを街を托鉢は出来ないが、姿勢で歩くことは出来る。」ということでした。毎日毎日、水と少しばかりの食事で、よく坐りました。4時に起きて、誰もいないちっぽけなアパートで、掃除をして。香炉は頂きましたが線香がありません。仏像は日本から持ってきたので、そこにお水だけ供えました。そして、ちゃんと日本の僧堂でやるような朝課をきちんとやり、それから坐禅をしました。お腹が空いてくると水を飲んで。

いま思うと、一番修行させていただいたのは、1965年のニューヨークでの生活だと思います。この一年は、ちゃんとそういうことをするように出来ていたのです。

少し話が変わりますが、臨済宗には師匠が2人います。一人は得度の師匠で、もう一人は参禅の師匠です。私の得度の師匠は、埼玉県秩父の方です。その埼玉県の秩父の師匠の同級生に東京の方がいました。ニューヨークに大菩薩禅堂が出来た際には、お二人でわざわざお越し下さいました。素晴らしい老師さまで。その方が「いただかななくてはならないものは、早かれ遅かれ、いただかなければならないようにできているものだなあ。」とおっしゃいました。

この言葉は全てに通ずると思います。私も30代でニューヨークに乗り込んだわけですから、修行が足りませんでした。修行が足りない分を、なんとか少しでも助けるように、全ての状況が坐禅をせざるを得ないようでした。ニューヨークの小さなアパートで水を飲みながら修行せざるを得ないようになっていたのです。「いただかななくてはならない……できているものだなあ。」という言葉をしみじみ実感しました。これは私だけの話ではなく、皆さんにも通用すると思います。すべてはそうなっているのです。

もう一つ、是非言いたいことがあります。私のことを、アメリカに50年もいて、ニューヨーク禅堂・大菩薩禅堂を建てた偉いお坊さんと言う方がいます。とんでもないことです。何故かといえば、私の師匠の師匠に山本玄峰老師という方がおられました。その方の念力と、山本玄峰老師のお弟子さんの中川宗測老師。甲州の大菩薩峠で独摂心をして、一人で坐り抜いて、国際禅堂という夢を見ておられました。なんとかして国際禅堂を建てたいと。そしてそのご縁があったのが、千崎如玄という、アメリカに50年住み一度しか日本に帰ってこなかったというお方です。その方と

の文通があり、千崎如玄も何とかしなければならぬという夢をお持ちでした。

そういう方々の、念力といいますか、祈りと申しますか、夢ですか。マヨネーズを作るとき、色んなものを入れてかき回しても、最初は何もできません。しかしある時点まで来るとヒューとマヨネーズになります。私がやらされた仕事・義務はマヨネーズをかき回すことです。決して自分だけでお寺を建てた訳でもない。一生懸命やっていたら、ヒューと出来てしまったわけです。おかげで、考えられないような多くの人が世界各国から参禅に来てくれております。そういう仕事を与えられたということだけでも、ありがたいことだとしみじみ思います。

もう一つありがたいと思うことは、私がハワイの大学にいた頃の話です。あるとき日系の2世か3世の人に「あんたがた日本から来た学生さんには、日本食が足りないでしょ。」と聞かれました。「本当に食べたいです。」と答えると、「今日パーティするから、いらっしゃい。」と言われ、4～5人で行きました。ところで、ハワイの中でもモロカイ島やラナイ島は、飛行場がなく普通の人が行けないような島です。そのモロカイ島のハワイの原住民のおじさんが、そのパーティに来て下さいました。そしてこういう話をして下さいました。「我々ハワイの原住民は昔から、たった4つのセンテンスを守るように言われてきている。なにもお土産がないから、ウクレレの演奏と共に教えます。」と言われました。

その一つは、アイ・アム・ソーリー（ごめんなさい）。我々は色んな方に迷惑を掛けて生きているわけですから、我々の存在自体がある意味では、悪の根源です。だからアイアムソーリー。次にプリーズ・フォーギブ・ミー（許してください）。そして物質であろうと大事にするという意味でアイ・ラブ・ユーと言いなさいと。最後にアイ・アム・グレートフル（ありがたう）と言いなさいと言うのです。

これはすごく簡単すぎたので、わざわざモロカイから来て、我々に教えてくれてもどういう意味があるのかなあと、その時は思いました。しかしそれから何十年も経って思い出していると、これは仏教のエッセンスです。『臨済録』を読もうと、『正法眼蔵』を読ませていただいても、結局のところ、アイ・アム・ソーリーとアイ・アム・グレートフルに尽きるのです。それをハワイの原住民のおじさんから習いました。

ところが、最近ある方が本を送って下さいました。『ホ・オポノポノ』という本です。読んでみると、同じことが書いてあります。今、ハワイの原住民のホ・オポノポノという4つのセンテンスが静かに広がっているそうです。そこまですますと、臨済もない曹洞もない浄土真宗もない。もしあえて言えば、キリスト教もないユダヤ教もない、しかしそれでいて、きっちとユダヤ教はユダヤ教、キリスト教はキリスト教、イスラームはイスラームで、仏教は仏教。仏教の中でも他力は他力、密教は密教それなりの、自力といわれる禅宗もそれなりの形を持つ。つまり、一つでありながら、それぞれがディステインクション（区別）されている。



物故者追善法要・導師細川会長

よく曹洞宗と臨済宗は一緒に集まる機会がないといえます。実際そうだと思います。なんとなく同じ禅宗でありながら、臨済宗の人は曹洞宗の人と交わる機会がない。逆に曹洞宗の人も臨済宗の坊さんと呼んで、こういう講演会をするということは画期的なことだと思います。良いことだと思いましたので、ここで話をさせてもらっています。

『臨済録』を読むと、どこにも坐禅しろということは書いてありません。むしろ、『臨済録』をひと言で言えば「おまかせ」という他力の教えです。私は何度何度も読み返して、下手な英語に訳し、出版までしました。それで気が付きましたが、坐禅をしろとは書いてありません。ただはっきりとした見性というものをして、偉そうなことを言えば、宇宙の原理をつかまなければならないということはいわれています。

中国の古典に老子の『道德経』というものがあります。これなどよく読んでみると、右手で宇宙意識などというアンビギュアス（あいまい）なことを言ったとすると、左手ではコンクリート（具体的）なコップを持って水を飲むと言っています。抽象的なことと具体的なことを同時にしなければいけないということです。道德とはモラルのことではなく、道の徳をたたえるという意味です。

こういうことは疑いのない事実です。そしてその中のエッセンスは仏教です。我々日本人は東洋にしながら、他の東洋人よりもいろいろな意味でアメリカナイズ・ウェスタナイズされた国民だと思います。悪く言えば、西欧文明にかぶれているわけです。こういう時代において、禅宗坊さんには、日本という国、あるいは東洋の文化・文明を一番初めにマスターして貰いたいと思います。そうでなければ、外国に出て行って、下手に英語ができたからといっても通用しません。英語が出来る人など、近頃はごまんといます。話せなければ通訳を頼めば良いだけです。この国の持っている美しさ深さ、そして東洋の持っている深さを身に付けて貰わないことには、仏教も東漸しないでしょう。東洋の時代というのも、単なる流行に終わってしまうと思います。

《 了 》

特集 2010年度総会・講演会報告

SOTO禅インターナショナル 2010年度総会報告

去る2月15日のことですが、午後1時より「2010年度SOTO禅インターナショナル（以下SZI）総会」が、曹洞宗檀信徒会館にて開催されております。

定例通り、椅子坐禅と国際布教没故者諸精霊への供養の諷経を行った後で、議事に入りました。

◆ 冒頭挨拶

まず細川正善会長より、来場の皆さまに御礼と挨拶を申し上げます。細川会長からは、冒頭に総会前日に御自坊にて行われた檀務の際、バレンタインデーはみんな知っていたものの、涅槃会はほとんど知られていなかったことを引き合いに、情報伝達・伝道の難しさを述べられました。続けて、SZIがこれまでどのような歩みを続けてきたかを総括され、海外と日本とを繋ぐ組織として認知されつつあることを指摘し、また宗門以外の活動として、映画『禅 ZEN』のプロモーション、FOODEX JAPAN 2009への協力などが行われたことを報告しております（これらは、インターネット検索によりSZIに依頼があったもので、従来は考えられなかったような繋がりが出ています）。

最後には、限られた人材・予算の中ではありますが、全力をもって今年も実践して参りたいと思います、と締めくくられました。

◆ 議事

議長には大場満洋先生を選出し、議事の進行をお任せしました。順を追ってその経過並びに結果をご報告いたします。

まずは、2009年度の活動について亀野哲也事務局長から、両大本山ワークショップ（講師・青山俊董老師、会報41号にて報告済み）やモンゴル植林事業、ゆめ観音をはじめとして多くの活動がなされたことと、南アメリカ

国際布教総監部及び南米別院佛心寺創設50周年記念行事や、桑港寺創設75周年記念行事などに役員が参加したこと等報告（両方ともに会報42号で報告済み）があり、続いて田宮隆児会計から2009年度の決算報告がなされました。昨年度のSZIの活動や会報発行は順調に進み、また予算の執行も適正に行われ、監事による監査も通ったことも重ねてお知らせしておきます（7頁に詳細な収支決算報告書を記載しています）。

ここで、会場からのご質問・ご意見などを受け付けましたが、さほど大きな質問は出ず、満場の拍手をもって承認されております。

続いて2010年度の事業計画案が、亀野事務局長から発表され、活動テーマは＜人・情報・縁－行動から実践へ＞であ



議長に選出された
大場満洋師

ること、昨年同様に両大本山ワークショップを開催し、両大本山の雲衲に国際布教の実態などを伝え、モンゴル植林事業では新たな環境問題への取り組みを目指し、（仮称）『曹洞宗国際布教近代史』編纂事業を行うことで、一々の海外開教事業を有機的に捉えることを目指します。また、例年通りゆめ観音の協力を行うことで、世界平和・世界友好の架け橋となるべく活動することが示されました。また、サイパン南溟堂を参拝し布教師OB会を主催すること（既に開催済みです。10頁をご覧ください）と、元北米布教総監・山下顕光老師13回忌法要が北米・禅宗寺で行われるため、それに役員も参加することなどが提示されています。

田宮会計からは今年度の予算が提示され、ほぼ昨年度と同程度の予算が提出されました（8頁に詳細な収支予算書を記載しております）。事業計画案、予算案、ともに承認を戴いております。

総会は、今年度の活動のみならず今後SZIがとるべき方向性を定める重大な内容を含むものでしたが、会員の皆さまのご参加とご協力により、以上の流れでもって議論は円滑に終了しました。今回承認された議案を元に、執行部一同さらに各行持に邁進していく所存です。

◆ 講演会

午後2時30分からは、臨済宗妙心寺派のニューヨーク大菩薩禅堂師家・嶋野栄道老師を拜請して「法網今や西ひがし」と題してご講演をしていただき、会員以外の多くの聴衆にもお集まりいただきました。嶋野老師からは、御自身の経験に基づく、現場中心のお話を戴き、質疑応答も活発に行われました。この詳細は2頁に掲載してありますので、ご参照ください。

◆ 懇親会

午後4時30分からは曹洞宗檀信徒会館3階の「蘭の間」にて、懇親会が行われました。駒澤大学名誉教授・小笠原隆元先生より乾杯の発声を頂戴して開宴となりました。今回は、ゲストにヴァイオリニストの池田敏美さんと、声楽家（カウンターテノール）の池田弦さんの親子をお招きして、お2人が織り成す楽しい音楽を聴きながら参加者一同懇親を深めました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございます。

（SZI事務局記）



懇親会のゲスト演奏
（池田敏美さん・池田弦さん）

SOTO禅インターナショナル2009年度収支決算報告書

総収入金 5,625,134 円
総支出金 4,970,662 円
差引残高 654,472 円

収入の部 2009年1月1日～2009年12月31日

項 目	本年度予算	本年度決算	増 減	備 考
会費収入	3,000,000	2,500,000	△ 500,000	年会費
事業収入	200,000	190,000	△ 10,000	総会会費等
即成金	1,200,000	1,200,000	0	両大本山、香積寺
雑収入	500,000	831,921	331,921	利子、減価、雑収入
支援補立金取崩	0	0	0	
塔婆植林事業収入	750,000	771,350	21,350	
繰越金	131,863	131,863	0	前年度よりの繰越金
計	5,781,863	5,625,134	△ 156,729	

支出の部

項 目	本年度予算	本年度決算	増 減	備 考
国際布教支援事業費	200,000	300,000	100,000	国際布教支援補立金
事業費	2,600,000	2,075,128	△ 524,872	総会、両大本山、香積寺、ゆめ観音、南米、仏壇費、印刷費等
印刷費	200,000	13,425	△ 186,575	各種印刷費
会報費	1,300,000	1,085,166	△ 234,834	会報印刷、郵送費、会報担当費
会議費	500,000	442,075	△ 57,925	各会議費、会議交通費等
事務費	200,000	143,961	△ 56,039	事務経費、消耗品費、旅費手配料等
通信費	100,000	90,890	△ 9,110	会報以外（総会報告等）の郵送料等
備品費	30,000	0	△ 30,000	
渉外費	50,000	54,750	4,750	旅費、電報、明証等
塔婆植林事業費	600,000	785,267	185,267	うちG.N.C.Japanへ50万円寄付
予備費	1,863	0	△ 1,863	
計	5,781,863	4,970,662	△ 811,201	

◎国際布教支援補立金	(定期貯金・前年度迄)	8,108,025 円
	(本年度積立)	300,000 円
	(本年度国際布教支援金)	700,000 円
	(本年度取崩)	0 円
	(本年度累計額・定期貯金)	7,708,025 円

2010年2月15日



上記の通り報告書を提出いたします
SOTO禅インターナショナル会計 田宮 隆児

2010年2月9日



監査の結果、上記の通り相違ありません
SOTO禅インターナショナル監事 黒柳 博仁 栗貫 成浩

2009年度SZI事業報告

活動テーマ＜人・情報・縁＞運動から行動へ（2009年1月1日～12月31日）

★自己研鑽事業

宗教間対話研究所月例会参加・各種講演会・勉強会参加・役員各自ブログ開設・運営

★講演事業

☆総会／講演会 主催

・3月2日(月) 曹洞宗檀信徒会館

映画「GATE」上映 講演会 講師 マット・テイラー監督

☆両大本山ワークショップ 主催

・6月2日(火) 總持寺ワークショップ 大本山總持寺

・6月3日(水) 永平寺ワークショップ 大本山永平寺

講師 愛知専門尼僧堂堂長 青山俊暲老師

★布教・協力支援事業

☆ゆめ観音アジアフェスティバル 主催

・9月5日(土) 第11回ゆめ観音アジアフェスティバル 大船観音寺

・6月10日(火)、12月18日(金) キヤンドルナイト in 大船観音

☆南アメリカ国際布教総監部及び南米別院佛心寺創設50周年記念行事 協力

・11月13日(金)～15日(日) 両大本山南米別院佛心寺他

☆桑港寺創設75周年記念行事 協力

☆好人庵創設15周年記念行事 協力

・10月23日(金)～25日(日) 北アメリカ 桑港寺・好人庵

☆各種行事人材派遣／交流

・1月6日(火) 映画「禅ZEN」海外プレス向け試写会協力 豊川稲荷東京別院

・3月3日(火) 農林水産省主催FOODEXJAPAN 禅の紹介協力 幕張メッセ

・7月29日(木)～8日(火) 聖護寺国際安居通訳派遣 熊本県・聖護寺

・7月29日(火)・30日(木) 永平寺主催夏期大学講座運営協力 檀信徒会館

・8月28日(金)・29日(土) 鈴木俊隆老師渡米50周年シンポジウム SF禅センター

☆塔婆供養で植林支援プロジェクト

・6月中旬 モンゴル植林ツアー（植林地 トジンナルス）

☆海外寺院へ仏具・法具を送る

7月 南アメリカ総監部へ

★出版事業

SZ I会報40号(4月)、41号(8月)、42号(12月)

(仮称) 曹洞宗国際布教近代史編纂事業立ち上げ

★広報事業

SZ Iホームページの運営・海外寺院ガイドブックWeb版の運営

ブログやEメールなどによる各事業の広報活動・情報提供

★国際布教支援金の運用

・希望者の募集、対象者の選定、その他

★国際布教支援金の運用

・北米龍門寺10万円(継続)／兵庫泉安寺10万円(継続)／南米佛心寺100万円(2年分)

★表彰

・第33回正力松太郎賞本賞受賞(ゆめ観音実行委員会)

SOTO禅インターナショナル2010年度収支予算書(案)

総収入金 6,104,472 円
 総支出金 6,104,472 円
 差引残高 0 円

収入の部

2010年1月1日～2010年12月31日

項 目	前年度予算	本年度予算	増 減	備 考
会費収入	3,000,000	2,700,000	△ 300,000	年会費
事業収入	300,000	200,000	△ 100,000	組合会費等
助成金	1,200,000	1,200,000	0	0 大本山、宗務庁
雑収入	400,000	600,000	200,000	利子、添呈、賛助金
塔婆造林事業	750,000	750,000	0	0
繰越金	131,863	654,472	522,609	前年度繰越金
計	5,781,863	6,104,472	322,609	

支出の部

項 目	前年度予算	本年度予算	増 減	備 考
国際布教支援事業費	200,000	300,000	100,000	国際布教支援積立金
事業費	2,600,000	2,950,000	350,000	ゆめ観音(40万)、国際布教近代史編纂(80万)、講 座会・WS(120万)、サイパン(10万)等
印刷費	200,000	100,000	△ 100,000	各種印刷費
会報費	1,300,000	1,100,000	△ 200,000	会報印刷、発送費、各種交通費、寄附四
会議費	500,000	500,000	0	0 各会館費、各種交通費等
事務費	200,000	200,000	0	0 事務用紙、消耗品費、旅費手数料
通信費	100,000	100,000	0	0 会報以外(組合特等)の郵送費等
備品費	30,000	30,000	0	0
渉外費	50,000	50,000	0	0 電話、机代等
塔婆造林事業	600,000	750,000	150,000	
予備費	1,863	24,472	22,609	
計	5,781,863	6,104,472	322,609	

◎国際布教支援積立金	(定期貯金・前年度未返)	7,708,025 円
	(本年度積立)	300,000 円
	(本年度国際布教支援金)	500,000 円
	(本年度取崩)	0 円
	(本年度未返計額・定期貯金)	7,508,025 円

* 海外布教支援積立金運用資金繰目に基づき取り崩す可能性がります

上記の通り予算書を提出いたします

2010年2月15日

SOTO禅インターナショナル

会計

田宮 隆児



2010年度SZI事業計画(案)

活動テーマ<人・情報・縁> 一行動から実践へ→ (2010年1月1日～12月31日)

★自己研鑽事業

宗教間対話研究所月例会参加・各種講演会・勉強会参加・役員各自ブログ開設・運営

★講演事業

☆ 総会／講演会 主催

・2月15日(月) 曹洞宗檀信徒会館

講演会 講師 嶋野栄道老師

☆ 両大本山ワークショップ 主催

・6月9日(水) 總持寺ワークショップ 大本山總持寺

・6月11日(金) 永平寺ワークショップ 大本山永平寺

★布教・協力支援事業

☆ ゆめ観音アジアフェスティバル 主催

・9月4日(土・予定) 第12回ゆめ観音アジアフェスティバル 大船観音寺

・関連開催 キャンドルナイト in 大船観音

☆ サイパン南溟堂参拝・布教師OB会 主催

・2月25日(木) サイパン島南溟堂

☆ 元北米布教総監 山下顕光老師13回忌法要 参加協力

・3月27日(土)・28日(日) 北アメリカ 禅宗寺

☆ 各種行事人材派遣／交流

・7月初旬 聖護寺国際安居通訳派遣 熊本県・聖護寺

・7月28日(水)・29日(木) 永平寺主催夏期大学講座運営協力 檀信徒会館

☆ 塔婆供養で植林支援プロジェクト

・5月中旬 モンゴルにて植林(GNCモンゴル)

☆ 海外寺院へ仏具・法具を送る

★出版事業

SZI会報43号(4月)、44号(8月)、45号(12月)

海外寺院ガイドブック更新

(仮称) 曹洞宗国際布教史編纂継続(日系寺院史)

★広報事業

SZIホームページの運営・海外寺院ガイドブックWeb版の運営

ブログやEメールなどによる各事業の広報活動・情報提供

★国際布教支援金の運用

・希望者の募集、対象者の選定、その他

2010年度 国際布教支援積立金 受給者募集のお知らせ

応募資格：曹洞宗の国際布教事業に対する内外の寺院、団体、個人

支援額：年度総額 100万円

お問い合わせ：細目をお読みいただき、SOTO禅インターナショナル事務局へ

申込書はSZIのホームページからダウンロード、もしくは事務局にお申し出下さい。

国際布教支援積立金運用細目

制定 2006年2月28日

(名称)

第1条 この積立金の名称を、SOTO禅インターナショナル国際布教支援積立金（以下、国際布教支援金）と呼ぶ。

(目的)

第2条 この細目は、SOTO禅インターナショナル（以下SZI）の会則にある目的と事業（育成支援、自然災害支援を含む）をより円滑に推進するために拠出を行うことを目的とする。

(支援対象)

第3条 国際布教支援金の対象は、曹洞宗の国際布教事業に対する内外の寺院、団体、個人とする。

(運営委員会)

第4条 国際布教支援金の拠出に関する運営と選考にあたっては、SZI国際布教支援積立金運営委員会（以下、運営委員会）において行う。

(委員会)

SZI会長
委員長 1名（SZI副会長から1名）
委員 若干名
幹事 SZI事務局長
2）国際布教支援金運営会は、SZI

事務局内に置く。

- 3）委員長は、SZI会長が副会長から1名を選任し、委員会を統括する。
- 4）委員は、SZI役員会において選任し、会長が任命する。
- 5）幹事は、SZI事務局長をもって充て、選考及び国際布教支援金の拠出に関する事務を掌理する。
- 6）委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支援金の限度額)

第5条 国際布教支援金は、総額で年度毎に100万円を超えることができない。

(支援金の申請)

- 第6条 国際布教支援金の拠出を受けようとするものは、SZI会長に申請しなければならない。
- 2）申請は、事業計画書（書式指定）をもって申請する。
- 3）SZI会長が申請を受けたときは、速やかに委員長をとめて運営委員会を開催しなければならない。
- 4）申請の受理に当たっては、すでに前条に定める限度額を満たしている場合は、これをしない。

(審査)

第7条 国際布教支援金の交付ならびに第10条に定める報告書は、運営委員会を構成する委員がこれを審査する。

(支援金の取消、停止、返還)

第8条 虚偽の申告があったなどの場合、選考委員会がこれを審査の上、国際布教支援金の取消、停止、及び返還を求めることができる。

(義務)

第9条 国際布教支援金の交付を受けたものは、支援金交付の際に指定された期日までに報告書（書式自由）を提出しなければならない。

(返還の義務)

第10条 国際布教支援金の交付を受けたものは、第9条の義務を果たすことによって、返還はしなくても良いものとする。なお、選考委員会を構成する選考委員がこれを審査する。

(会員への報告)

第11条 国際布教支援金の交付があった場合、翌年度の総会において運営委員長により報告を行う。

(委任)

第12条 この規程の施行に関し、必要な事項は運営委員会が別に定める。

附 則 この規程はSOTO禅インターナショナル会則第16条第3項に則り、2006年3月1日から施行する。

国際布教支援積立金の運用について

■ 国際布教支援積立金運用細目とは

1993年2月にSOTO禅インターナショナルが発会してから、国際布教支援を目途として支援金を積み立ててまいりました。当初目標額1000万円に達したことを期に、1年の検討期間を経て2006年より運用細目を制定し、爾来5年間に亘って運用してまいりました。

この細目で特筆すべき事項は、第2条（目的）「この細目は、SOTO禅インターナショナルの会則にある目的と事業（育成支援、自然災害支援を含む）より円滑に推進するために拠出を行うことを目的とする。」であります。これは、海外から曹洞宗の僧侶を志す方々の支援はもとより、曹洞宗の海外寺院における記念諸行事、事業、自然災害、テロ等の被害を受けたお寺に対してもその支援を積極的に展開し、単なる奨学金に留まらない支援に拠

出するところにあります。

この細目を総会でご承認いただいたことにより、SOTO禅インターナショナルの年間通常会計から独立に拠出できるようになり、突発的な災害等に対しても限度額内で見舞金を送る事ができるようになり、フットワークよく積立金を有意義に活用出来ると思っております。

現在、この積立金の規模からして年度毎に総額で100万円を超えることが出来ないことになっておりますが、会員が増え、積立額が増えてくれば年度総額を増やし、その活用規模を大きくしたいと思っております。

今後とも会員皆様のご協力をよろしくお願いし、その活用成果にご期待ください。

元国際布教師OB会サイパン結集報告

平成22年2月25日、サイパン国際礼拝堂（以下南溟堂）（Nanmeido: The Saipan International House of Prayer）に元国際布教師OB・SZIスタッフが集いました。参加者の寄稿により、サイパンツアーを振り返ります。

昨年京都で開催された元国際布教師OB会・SZIスタッフ忘年会で、元ハワイ・カウアイ禅宗寺開教師秋田新隆老師ご夫妻がサイパンより参加されたのを機縁に、次回OB・スタッフ結集はサイパンと決まった。

さて、前回の会報に2月25日実施と案内したものの、皆目参加人数も定まらぬままに当日現地集合・現地解散となった。しかし、そこは皆元国際布教師や国際布教に関係した方々。心配をよそに7名（永井成典師夫妻、大場満洋師、山本健善師、亀野哲也師（事務局長）、細川正善、細川道子（寺族））の参加となった。

今回のサイパン結集は南溟堂の参拝と、秋田先生御夫妻の表敬訪問が目的であった。

まず、この参拝と慰霊法要で感じた事は、秋田先生御夫妻がハワイ開教、御自坊（静岡）の教化を経て、更に一大発願してサイパンの地に「南溟堂」を建立された弛まぬ道心と、戦没殉難者への深い哀悼の真が、あらためて戦争の悲惨さ、人命・平和の尊さ、そして布教に対する情熱を直接肌で感じられた事であった。また、檀信徒の中に戦前戦中とサイパン島やテニアン島に移住（当時数万人の日本人が移住、砂糖キビ畑などを開墾）していた方の戦没者も多く、一度は訪ねたいところでもあったので母とお参りする機会に恵まれ、参拝・慰霊巡礼出来たことに感謝している。

しかし、未だ戦争の爪痕を残す地であって、何時の世も人間の我欲と愚かな行動は絶えることは無いが、サイパン・テニアンを囲む紺碧の海は、そうした私たちの心を飲み込むかのように波飛沫を上げながら全てを受け止めるように深く澄んでいた。

これからも、秋田先生御夫妻の法体堅固と御活躍を祈ると共に、折に触れ参拝したい地となった。

（SOTO禅インターナショナル会長 細川正善）

叩きつく 雨を涙と思えとや バンザイクリフの 読経に应う

身を投げし バンザイクリフの 海の色
この世のものと 得も言えぬ碧

一発心 み魂やすけく 南溟堂
昭和終わりて サイパンに建つ

原爆を 積みて飛び立つ テニアン島
落首新し 米兵の意趣

ファーストメッセージ セカンドキス フォーヒロヒト
落手新し 原爆の基地

（観音院住職 大場満洋）



広島・長崎原爆搭載地（テニアン島）

今回のツアーは、太平洋戦争に係わった総ての人々の供養をする旅でした。特に、このサイパン島は、中部地方（愛知・岐阜・長野・静岡）の出身者が多く出兵されていて、3万1千人もの方々が玉砕され、いまだに屍が野ざらしになったままの人も多くいらっしゃるそうです。

今、私が立っているバンザイクリフでは、戦争の激戦から必死に逃れてきた人々（この島で日本人の開拓者の家族・現地の住民が砂糖キビを育て、砂糖工場を操業していた。）が行く手を阻まれ、ついに断崖絶壁から、深い海へ身を投げ入れた所です。まさに、この現場に立った私は万感胸がつまり、足が震えました。

海は、荒れていました。波は、天高く飛沫をあげ大きな岩の絶壁に叩きつけていました。

それにしてもこの海の色は、何と綺麗な色なのでしょう。ちょうどメロンクリームソーダの様です。こんな色は、海のすぐ側に住むわたしも初めて見ました。この絶壁に沿って一基一基だれが作ったのでしょうか、戦没者供養塔が30、いや40位はあったでしょうか。

私は、一つ一つにお線香をあげていきました。岸壁の中心近くにあります聖観音菩薩さまの前で同行者全員で読経しました。



雨の中の法要（バンザイクリフ）

読経は自然と声が大きくなり万感の思いを腹の底より唱えました。同時に雨が声に続けとすごい勢いを増してきて、皆ずぶぬれになりながら、一心に心を込めて読みました。

「目を閉じて、見えない貴方に・知らない貴方に、一生懸命念じていると、貴方の姿が浮かんできます・・・・さあ、日本に帰ろう。私の背中につかまって。一緒に故郷へ帰りましょう」

まだ望郷の思いがあるであろう戦没殉難者の皆様に本当に心の中でささやきました。

読経が終わった後、「きっと嬉し涙・涙雨だったんだよね。」と全員が思いました。私もお参り出来たことが、本当に良かった。嬉しさと有難さも感じた旅でした。

愛知県の自坊にも、地元出身者の戦没者慰霊碑があり、毎朝そこでもお参りいたしております。帰国後も、サイパンより持って帰った椰子の実、そして海岸で拾ったサンゴのかけらをお供えて懇ろにお経を読ませて頂きました。サイパンの旅は、サイパン在住の秋田新隆御老師の尊い御縁により行くことが出来ましたことを深く感謝しております。

(宝珠院住職 永井成典)

南溟堂はサイパンで一番の繁華街、ガラパン地区にある砂糖王公園 (Sugar King Park) の一角にあります。

静岡県出身の国際布教師・秋田新隆老師が約20年前に発願、建立のための資金のほとんどを負担され、さらに戦没関係者、岐阜県仏教会、信徒会の協力を得て5年の年月を費やし開創された超宗派の寺院です。平成2年10月、大事業が完工し、大導師を岐阜県仏教会会長・正眼寺住職 谷耕月老師、導師を秋田新隆老師およびニューヨーク大菩薩禅堂・嶋野栄道老師が勤められ、ニューヨーク、シアトル、岐阜、愛知、静岡などから400人も参列により落慶法要が盛大に厳修されました。

秋田新隆老師は当時ハワイ・ヒロ大正寺の住職として着任されておりましたが、平成21年2月にハワイの任期を終えられ、南溟堂を護持するためご夫妻でサイパンに移住されました。地元の新聞『Saipan Tribune』のインタビューに秋田老師は「南溟堂はサイパン市長事務所により管理されていたものの何年も無住だった。これからは戦没された方々の、アメリカ人、日本人、現地の方の区別なく、み霊を慰めるために寺を護持することが私の義務であると思う」「私は、生涯このお寺を護持するためにサイパンに居ることを決めた」と答えられています。(SZI会報 40号 P11)

2月25日、ツアー参加者が南溟堂に集い、SZI会長導師により拝登諷経並びに慰霊法要を営ませていただきました。

回 向
天徳巍巍 慧日遠照三千界
玄猷耿々 慈光遍及万億年
仰冀洪靈 俯賜臨照
上來 諷誦経呪 所集功德
サイパン島戦死病没者諸精霊
中部太平洋地区戦没者諸精霊
戦役殉難諸精霊
回向報地莊嚴
伏願
万邦和楽 万難消滅
火盜潜消 所縁吉祥

法要後、秋田老師に南溟堂の由緒縁起をお話いただきました。

暑い南の島で水も思うように飲めないまま散華された軍人、民間人、原住民、また闘いに明け暮れた相手国の人々…サイパンには慰霊碑は数多く建てられているけれど、どれも野ざらしとなっています。せめて屋根のついたお堂でゆっくり水を飲んで貰い、ゆっくり供養したい…秋田老師は南溟堂発願の動機を静かに語っておられました。

南溟堂の本尊は慈母観音、その左右に梅花観音、阿弥陀如来をお祀りしています。壁際には坐禅単が作られ、20人ほどが坐することができます。

そして、何よりも目に付くのは本堂天井の中心から大梵鐘が吊り下げられているということです。この大梵鐘は岐阜県仏教会の呼びかけにより造られ、船でサイパンに運ばれてきました。以来、サイパンの地から平和を願う佛声が世界に向けて響き渡っています。

拝敷の上に梵鐘があるという一寸珍しい光景ですが、屋外に梵鐘を置くと悪戯の被害にあってしまうためこのような構造になっているということです。

実際、秋田老師がハワイに居られて住職不在の時期には心無い何者かに本堂のガラスが壊され侵入され、仏具の一部(仏像の光背、獅子吼など)を破壊されてしまったそうで、現在もその傷跡が残されています。



秋田老師ご夫妻と南溟堂の前で

南溟堂は砂糖王公園の中にありますが、細長い公園の一番奥に位置するために、観光ツアーのルートには入っていません。そのために、まだ訪問される方はそれほど多くないそうです。

「訪問者、旅行者、地元住人も、毎日開いている寺に参詣して祈りを捧げてくださるようお願いしたい」(秋田老師のことばより)

サイパンへ旅行される方は、是非南溟堂へお参りされることをお勧めします。

末筆ながら、現地でもとてもお世話になりました秋田老師ご夫妻に心より感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

(SZI事務局長 亀野哲也)

【南溟堂 住所】

PMB212 Box10003, Saipan,
MP96950-8903



【帰国報告】ハワイの布教に携わって(4)

元ハワイ国際布教総監部賛事 ^{よし}吉 ^だ田 ^{こう}宏 ^{とく}得 (静岡県萬松院住職)

ここ数回に渡り、ハワイの布教の一面についてお知らせさせて頂いています。文化や言語の相違を通して、仏教(曹洞宗)の行事や信徒達の慣習が変化してきた事を紹介してきました。色々な場面に幾らかの興味が湧いた事と思います。この度も少し紹介させて頂きます。

ハワイでは、赤ちゃんの発育円満の祈祷。義務教育の卒業で感謝のお参り。結婚では、先祖への報告と挙式。病床での平癒の祈願。もちろん臨終では、病院や老人ホームで枕経そして葬儀。これらの全てに僧侶として関わり、その場面場面での安心(あんじん)と心の癒しに、最善を尽くして信徒の要望に応えます。人生の始めから終わりまで、色々な節目で僧侶として心の支えとなるべき役割を求められます。その中に日本では少し不思議だと感じられる場面も多くあり、ここにその一端を紹介します。例えば、①病床に臥せる信徒に手を合わせてお経を唱え、病気の平癒を願ひに祈るのです。今の日本でこんな事をしたら「私はまだ存命です。縁起悪いことをしないで下さい。」と拒否反応を招くでしょう。更にお寺やお墓にお参りするのは、当然故人の命日や盆や彼岸ですが、ハワイではその他に②父の日や母の日・敬老の日、そして故人の誕生日や、家族の記念日等もお参りに行きます。これは日本の方から見たら「なぜ亡くなった人に?」と疑問の声もあるでしょう。しかしハワイでは極当たり前の事です。

他に日本では有得ない事としては、葬儀の場面でも笑いが有ることです。まさかと思われるでしょうが全てとは言えませんが本当の話です。日本では経歴や人柄を称賛して故人を忍ぶのが弔辞です。ところがハワイでは、生前に周囲を笑わせた話や驚かせたエピソード、故人が発した冗談話

などを折り込み、心の豊かさや周囲への気遣いを感じさせる和やかさ等を織り交ぜて弔意を表すのです。行過ぎは良くないですが、程よく故人の優しさや人柄の温かさを思い出し、故人を彷彿させて涙に笑いも交わるひと時が有ります。葬儀への参列も堅苦しくなく、アロハシャツやムームーや平服に近い姿で、形式よりも故人を忍ぶ心を大切に集まっています。そして、式の最後に僧侶としてその宗派での大切な教義を織り込んでの追悼説教で終わります。ここで話す内容で遺族の心も慰め、これからの遺族の信仰の拠り所を築く原点を作るお手伝いとなる内容で締めなければならないのです。これは一番緊張しますがとても大切な場面です。式が終わった時、遺族や参列者からお礼の言葉と握手を頂くと、安堵と感謝の念が湧いてきます。より一層信徒のために、奉仕努力しようと決意が改まります。

人懐こく朗らかな性格の日系の方々が、先人の苦勞を礎に世代を繋いで護持するハワイの寺院に僧侶として御縁を頂き、多くの事を見聞し学ばせて頂きました。現代日本では忘れ去られたり稀になってしまった慣習や行事も、先祖からの誇りとして守り続ける伝統等。また反対に英語文化の中で継承した事で、枠に把われない幅広い受け口を構えた敷居の低いお寺の姿・信徒同士が支え合う姿勢・過度な華美に走らず大切な本意を怠らない信仰への真摯な思い。日常の生活の端々に、仏の教えを学ぶ柔和な心等々。信仰心と人の関係が信頼希薄になった現代日本で、今後帰国僧侶として彼らを通して再修行のつもりで学んだ多くの事を実践して、檀信徒に身近に感じていただけるお寺作りの為に一層努力を重ねます。



葬儀場の一コマ、華美でない祭壇と平易な服装での参列者



父の日・母の日や敬老の日に備えられる納骨堂の花々

… 海外レポート③ …

「夢中に夢を見る」

故山下顕光北米開教総監13回忌法要、並びに北米国際布教総監退任に寄せて

好人庵禅堂国際布教師 ^{あき} ^ば ^{げん} ^ご 秋 葉 玄 吾

先般、3月28日(日)ロサンゼルス禅宗寺にて、第8代北米開教総監・禅宗寺第9世・泰道顕光大和尚13回忌、並びにご令室・松風院円海静心禅尼17回忌法要が営まれました。早いものだなとの感慨深いものがありました。

日本より、戦後すぐの頃より宗務庁へ勤務され、海外の日系寺院開教師派遣のことなどに関係され、山下老師とも親交の深かった埼玉県興禅寺住職・武田秀嗣老師、宗務庁の国際課初代課長を務められ、山下老師と何かと交流を持たれた山本健善老師、禅宗寺駐在開教師として赴任され、当時総監だった山下老師の薫陶を受けた永井成典、福島伸悦、黒柳博仁各老師などがお見えになられ、往事の話題に花が咲きました。

当日は、山下老師13回忌正当の導師を務めさせていただきました。私の総監職最後の導師役でした。胸中、禅宗寺の国際布教師として13年間おあずかりいたしましたお寺を無事お返しいたしますという想いを抱いたものでありました。

山下老師は88年の生涯のうち、戦前、戦後50数年にわたり禅宗寺にお勤めされました。私には山下老師の禅宗寺という印象が強く、ご遷化数日前に病床にあった老師を見舞ったとき、「禅宗寺が心配だ」と繰り返しおっしゃっていたことが耳に残っていて、そういう想いが胸中に湧いたのでしょう。

さて、その山下老師のあと、私は総監職と禅宗寺を引き継ぎ、ほぼ13年間お預かりしたわけですが、もとより浅学非才、なにほどのことを為したのか、はなはだ心もとなく13年間のことを顧みる次第ですが、このたび3月31日をもって総監職を辞任いたしました。

就任当初は、丁度北アメリカの曹洞禅社会が変わり目に入っており、そのため、総監部には開教センターも設置され、続々と生まれつつあった禅センター、僧侶の宗門的



対応が要請された時期でありました。彼等への行政的対応、曹洞禅僧侶としての自覚促進、帰属意識形成、正伝の仏法流布などの諸活動が主な任務となったのでした。また、道元禅師の生誕800年記念行事、750回大遠忌に伴う諸行事遂行、禅宗寺80周年記念行事などのことがありました。さらに、海外僧への宗制的対応変更という節目を迎えたり、それに伴う宗立専門僧堂設置など様々のことを経験させていただきました。

使命感に燃えた総監部、国際センター、禅宗寺所属の国際布教師全員が最大限の熱い力をふりしぼり、多岐にわたる任務を遂行してきたことも、今は夢のように思われます。

関わりをもたせていただいた多くの方々のご法愛の賜ものにより、様々の事業がなされたものと、今はただ感謝の念を深くしておるばかりです。

誌上を借りて、国際布教の関わった全ての皆様に衷心より御礼申し上げます。

今後とも国際布教へのご支援のほどをお願い申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

… 国内レポート …

夏期大学講座 寒中勉強会報告

2月9日のことですが、永平寺夏期大学講座「禅といま」の寒中勉強会が、曹洞宗檀信徒会館で行われました。講師は藤田一照先生、演題は「欲望」は苦しみの原因なのか―仏教における「欲望」再考です。

仏教に対する通俗的イメージとして「欲望の否定・除滅を説く教えである」と思われていて、欲望は「悪者扱い」にされています。しかし、仏教は、単純な勧善懲悪の教えでもないといえます。釈尊の修行過程や、その教えを正しく見ていくと、「欲望」と「渴愛・執着」とが分けられ、欲望は自然現象となります。



す。自然現象である以上、我々は否定も肯定も出来ず、有りがたく受けるしかないといえます。そして、欲望から生じる渴愛で、執着が起こる方が問題なのです。

例えば、藤田先生は

「煩惱即菩提」という言葉を引いて、欲望を倒す相手ではなく、友として、我々人間自身が大自然に生きる上で具わる、自然からの恵みという生命力として考えてみたらどうか?と提案されます。我々は通常、欲望に対して、「満たそうとばかり考える」世俗的価値観と、「減しようばかり考える」歪んだ宗教的価値観とに翻弄されています。しかし、欲望が本来具わっているとすれば、減するのは不自然であるので、「膨大に持っている」ところから考え、その欲望(生命力)を「シェアする」方向性を模索するのも良いとされました。

我々の坐禅は、「能力獲得」などを旨とする「足し算型修行」とは対極にある、「引き算型修行」になります。その意味では、「欲望がない」ところから考えれば、この修行を不可能とします。「欲望のシェア」を円滑ならしめるためにも、「坐禅」に於けるセルフコントロールが有益なのでしょう。

100人を超える多くの聴講者に、どう理解されたのか?興味津々の方も多いように見えたのですが、有益な教えが多くの方に「シェア」されることを願います。

(文責 SZI事務局員 菅原研洲)

SZI express

会費納入者・賛助金納入者名簿

2009年12月15日～2010年4月20日まで

ありがとうございます。
大切にさせていただきます。

■ 会費納入者ご芳名

2009/12/15 ～ 2010/4/15

(順不同・敬称略)

青森県	宝積院	太田宏見	東京都	三藤祥素女
青森県	全竜寺	中村純一	東京都	高崎忠道
秋田県	満福寺	伊藤道人	東京都	水口優美子
宮城県	功岳寺	関弘爾	東京都	来馬宗憲
宮城県	耕龍寺	清水了祐	東京都	清巖寺
宮城県	大雄寺	小島孝尋	東京都	観音院
宮城県	洞昌寺内	奥野秀典	神奈川県	善光寺
福島県	蔵門寺	西脇広道	神奈川県	岸本幸子
群馬県	昌雲寺	佐藤亮子	神奈川県	正観寺
埼玉県	東栄寺	大森篤史	神奈川県	鳳勝寺
千葉県	観音寺	関光輝	神奈川県	常泉院
千葉県	大洞院		神奈川県	福泉寺
			神奈川県	黙仙寺
			山梨県	泉龍寺
			長野県	正麟寺
			静岡県	大泉寺
			静岡県	満願寺
			福井県	岩田弘之
			富山県	つばた書店
				徳城寺

愛知県	龍潭寺	島根県	松源寺	佐瀬道淳
愛知県	愛知学院大学			
愛知県	松月寺			
京都府	松本屋			
島根県	松源寺			
長崎県	洞禅寺			

島根県 松源寺 佐瀬道淳

■ 塔婆供養で植林支援協賛者ご芳名
2009/12/15 ～ 2010/4/20
(順不同・敬称略)

宮城県	耕龍寺	清水了祐
福島県	蔵門寺	西脇広道
福島県	天徳寺	
東京都	清巖寺	水口優美子
東京都	大龍寺	来馬宗憲
山梨県	泉龍寺	大塚雄参
静岡県	満願寺	岩田弘之
富山県	徳城寺	
神奈川県	大蔵寺	

累計 200件 苗木 54,285本分

■ 賛助金納入者ご芳名

2009/12/15 ～ 2010/4/15

(順不同・敬称略)

青森県	全竜寺	中村純一
宮城県	大雄寺	小島孝尋
宮城県	東海泰典	
東京都	静勝寺	高崎忠道
東京都	水口優美子	
神奈川県	岸本幸子	
静岡県	孤雲寺	尾崎光昭
静岡県	満願寺	岩田弘之
富山県	徳城寺	

動 静 報 告

2010/1/1 ～ 2010/5/15まで

1月10日	会報発送作業	SZI事務局
2月9日	役員会	檀信徒会館
2月15日	役員会	檀信徒会館
2月15日	年度総会・講演会	檀信徒会館
2月25日	国際布教師OB会	サイパン南溟堂
3月5日	布教史編纂委員会	檀信徒会館
5月7日	編集会議	新宿 珈琲西武

随時インターネットにて役員会を開催しております。

編集後記



インターネットの普及によって、多くの人が、簡単で、素早く、情報発信ができる時代になりました。この一年で、情報発信を後押しする技術や製品はさらに普及しましたが、逆に、無用の情報も増えたように思います。紙面が限られている本誌では、読んでくださる方に有益で、縁作りにも寄与できるような内容になるよう心がけたいと思います。

(編集太田)

キャンドルナイトin大船観音 2010 Summer

<http://candle-night.org>
<http://soto-zen.net/candle>


Turn off the lights, and take it slow.

「でんきを消して、スローな夜を…」

【日 程】2010年6月20日(日)

※雨天の場合は事務所内と周辺のディスプレイのみ。

【時 間】日没～

【料 金】500円(献灯代が含まれます)

【場 所】大船観音寺

鎌倉市岡本1-5-3 / JR大船駅西口から徒歩10分

Tel: 0467-43-1561

【主 催】ゆめ観音実行委員会

SZIホームページ運営中

SZI

検索

SZIで検索!

会報バックナンバー、過去の総会・講演会、
スタッフページなどもご覧いただけます。

URL <http://soto-zen.net>

SZI express

ブラジルに国際禅交流道場を創設

リオ・グランデ・ド・スール州(Estado de Rio Grande do Sul)ピアマウ市パンダレヤ地区ベコドペスケーロにある敷地約5万坪の元牧場地に国際禅交流道場の建設が開始されました。堂長はサンパウロ天随寺住職 ソーザ孤円師、開山は森山大行師です。



孤円堂長と共に



今年も継続します！

塔婆供養で植林支援

1本の塔婆供養で、1本の樹木が育ちます

SOTO禅インターナショナルは一昨年度、創立15周年の記念事業として「塔婆で植林」事業を企画しました。この事業には全国から多くの御寺院様のご協力をいただき、2009年までには植林支援金として累計100万円(苗木5万本分)をGNC Japanへ寄付しました。

GNC Japan(Global Network for Coexistence)は「出会い」そして「人と人との信頼関係に支えられたつながり」をモットーに、今地球上で人類が直面している多くの課題に対応すべく、1995年に結成されたNPO法人です。法人の設立当初にモンゴルで起きた大火災をきっかけにモンゴルでの植林事業が始まりました(GNC Japanについては、これまでの会報に紹介がありますので、ご覧ください)。

モンゴルといえば草原地帯が想像されがちですが、「塔婆供養で植林支援」によって集められた支援金はモンゴルの北部、ロシアとの国境に近い地域の植林にあてられます。この

スウェーデンに禅センター発足

2009年9月、スウェーデンにストックホルム禅センターが発足しました。

発起人は法観・フリーデル居士で、大菩薩山禅堂国際禅センター瑞岳院(住職・森山大行師)のスカンジナビア総局として位置づけられています。

所在地 Blåmesvägen11 13442 Gustavsberg Sweden

(情報提供 大菩薩禅堂堂長 森山大行師)



禅センターメンバー



地域の長年にわたる不法伐採や火災、温暖化の影響による森林の危機は、地球規模の環境問題にもつながるものであり、遠く離れた地に住む私たちと決して無関係の問題ではないのです。



塔婆供養で植林支援のシール。
1枚ごとにナンバーが入ります

「塔婆供養で植林支援」の仕組みは明瞭です。御寺院様で建立される卒塔婆に貼るシールを、卒塔婆1本につき1枚30円でお買い上げいただきます。これにより、卒塔婆1本につき(シール1枚につき)1本の苗木が植林されます。

2009年6月にはSZIスタッフ有志により現地における植林ツアーが行なわれました。SZIでは2010年度もこの事業を継続して行います。皆様方のご協力をお願いいたします。

SOTO禅インターナショナル 両大本山ワークショップのご案内

国際布教、海外事情に関してご講演いただく予定です。

講 師／ルメー大岳 師

(北アメリカ国際布教総監部 総監)

● 大本山總持寺 三松閣4階大講堂

2010年 6月 9日(水) 午後2時30分より

【JR鶴見駅徒歩10分】

※一般の方の聴講も歓迎いたします。

● 大本山永平寺

2010年 6月11日(金) 午後6時30分より

※内講により、修行僧のみの聴講です。

CONTENTS

▶ 巻 頭	「曹洞宗国際センター所長就任にあたって」……………曹洞宗国際センター所長 藤田 一照	1
▶ 特 集	2010年度総会・講演会報告	
	講演抄録「法網今や西ひがし」……………ニューヨーク大菩薩禅堂師家 嶋野 栄道	2
	総会レポート……………	6
	総会資料「2009年度事業報告・決算」……………	7
	「2010年度事業計画・予算」……………	8
▶ 2010年度 国際布教支援積立金 受給者募集のお知らせ	……………	9
▶ 海外レポート		
	①「サイパン南溟堂参拝報告」……………	10
	②「【帰国報告】 ハワイの布教に携わって (4)」……………元ハワイ国際布教総監部賛事 吉田 宏得	12
	③「元北米総監 山下老師13回忌法要」……………好人庵禅堂国際布教師 秋葉 玄吾	13
▶ 国内レポート		
	「夏期大学講座 寒中勉強会報告」……………	13
▶ SZI express	会費納入者・賛助金納入者名簿・動静報告・編集後記	14
▶ S Z I 両大本山ワークショップのお知らせ	……………	16